平成30年度　百合丘高等学校 年間指導計画

教科・科目	外国語・英語表現Ⅰ	学年	第1学年	教科書	数研出版 DUALSCOPE English Expression Ⅰ
		単位数	2単位	副教材	桐原書店「総合英語FACTBOOK English Grammar Standard」、桐原書店「総合英語FACTBOOKこれからの英文法」

学習目標

○コミュニケーションを支えるものとしての文法の形式・意味・機能に熟知し、必要な場面で、適切な文法形式を用いて正しく表現することができる。
○与えられた話題について、即興で話す。また相手に自分の伝えたいことを理解してもらうために聞き手や目的に応じて簡潔に話す。
○自分の伝えたいことが相手に適切に伝わるように、読み手や目的に応じて、簡潔に書く。
○聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。

学習方法

○情報や考えなどを伝える能力の向上を図るために、授業では話したり、書いたりする言語活動を中心に行う。
○学んだ文法事項や表現を使って、文を正しく書く、話す。
○話すこと及び書くことの指導の効果を高めるように、聞くこと及び読むことも関連付けた活動を行う。
○定着を図るために、単元ごとに確認テストを行い学習到達度を確認する。

学習評価

評価の観点		科目の評価の観点の趣旨
a	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で言語活動に参加することで自己を表現したり、他者とのコミュニケーションを図ろうと努力しているか。
b	外国語表現の能力	表現の基礎となる文法事項を理解し、与えられた話題について、聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、書くこと、発表することができるか。
c		
d	言語や文化についての知識・理解	英語の学習を通して、言語や文化についての知識を身につけ、様々なテーマについての理解を深めることができるか。

学期	内容のまとまり	時数	単元（題材）	学習内容	評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
前期	文型	5	[DUALSCOPE] L1 英語の型で表現する [FACTBOOK] 文型(1)、(2)、Plus文型	自己紹介 SV/SVC/SVO文型 SVOO/ SVOC文型	○ ○	○ ○		○	a：学んだ文法事項を理解しながら、積極的に演習に取り組もうとしている。 b：学んだ文型や文構造を理解し、英作文を正確に書くことができる。 d: 自動詞と他動詞の違いを知っている。 d: 文型の使い分けを知っている。	・活動への取り組み ・問題への取り組み ・課題の提出 ・前期中間試験
	動詞と時制	6	[DUALSCOPE] L2 さまざまな「時」を表現する [FACTBOOK]時を表す表現(1)、(2)、完了形(1)、(2)	車内アナウンス、計画・予定の表現 現在形・過去形・未来形 現在進行形・過去進行形・未来進行形 現在完了形・現在完了進行形 過去完了形・過去完了進行形	○ ○	○ ○		○	a：学んだ文法事項を理解しながら、積極的に演習に取り組もうとしている。 a：自分が書いたものに基づいて、話す活動に積極的に取り組もうとしている。 b：与えられた話題について、即興で話すことができる。 b：内容に応じて的確な時制を用いて自分の考えを表現できる。 d：花見に関する英語表現を知っている。	・活動への取り組み ・問題への取り組み ・課題の提出 ・確認テスト ・前期中間試験
	プレゼンテーション1	3	[DUALSCOPE] 主題・展開を決める	パラグラフの構成、プレゼンテーション全体の構成など	○	○			a：学んだ文法事項を理解しながら、積極的に演習に取り組もうとしている。 b：学んだ文型や文構造を理解し、英作文を正確に書くことができる。	・活動への取り組み ・課題の提出
	助動詞	6	[DUALSCOPE] L3 助動詞を使って表現する [FACTBOOK] 助動詞(1)、(2)、(3)	クラブ活動、勧誘、許可など can / may / must should / Will you など / Shall we など used to / Would you ? / I'd like to など	○ ○	○ ○		○	a：学んだ文法事項を理解しながら、積極的に演習に取り組もうとしている。 a：自分が書いたものに基づいて、話す活動に積極的に取り組もうとしている。 b：学んだ文型や文構造を理解し、英作文を正確に書くことができる。 d：wouldとused to V表現とそれらの意味の違いを知っている。	・活動への取り組み ・問題への取り組み ・課題の提出 ・確認テスト ・前期期末試験
	受動態	5	[DUALSCOPE] L4 受動態を使って表現する [FACTBOOK] 受動態(1)、(2)	発明・発見について、感情の表現 be done / have been done / be being done (受動態、現在完了形と、進行形と) It is said that / He is said to	○ ○	○ ○		○	a：学んだ文法事項を理解しながら、積極的に演習に取り組もうとしている。 a：自分が書いたものに基づいて、話す活動に積極的に取り組もうとしている。 b：学んだ文型や文構造を理解し、英作文を正確に書くことができる。 d:「〜と言われている」などの表現を的確に使える。 d: 受動態と各種時制を組み合わせて的確な表現ができる。	・活動への取り組み ・問題への取り組み ・課題の提出 ・確認テスト ・前期期末試験
	プレゼンテーション2	3	[DUALSCOPE] 情報や考えを整理する	つなぎ表現/強さとポーズなど	○	○			a: 自分が書いたものに基づいて、話す活動に積極的に取り組もうとしている。 b: 学んだ表現を理解し、正確に英語表現ができる。	・活動への取り組み ・課題の提出
後期	不定詞	5	[DUALSCOPE] L5 不定詞を使って表現する [FACTBOOK]不定詞(1)、(2)、(3)、Plus不定詞	未来の生活、願望・目的を述べる 不定詞の基本用法 形式主語、want 人to do等 seem to do / 疑問詞＋to do 等	○ ○	○ ○		○	a：学んだ文法事項を理解しながら、積極的に演習に取り組もうとしている。 a：自分が書いたものに基づいて、話す活動に積極的に取り組もうとしている。 b：聞き手や目的に応じて簡潔に書くこと、話すこと ができる 。 d：want to doとwant 人to do等の違いを理解し的確に表現できる。 d: 不定詞の意味上の主語を理解し的確に表現できる。	・活動への取り組み ・問題への取り組み ・課題の提出 ・確認テスト ・前期期末試験
	動名詞	5	[DUALSCOPE] L 6 動名詞を使って表現する [FACTBOOK]動名詞(1)、(2)	感謝する、謝る 動名詞の基本用法、動名詞の意味上の主語 動名詞を目的語にする動詞、不定詞を目的語にする動詞、それぞれの使い分け	○ ○	○ ○		○	a：学んだ文法事項を理解しながら、積極的に演習に取り組もうとしている。 b：与えられた話題について、即興で話すことができる。 b：学んだ文法事項を利用して話すことができる。 d: Would you mind `ing / Would you mind my `ingの違いを理解できる。	・活動への取り組み ・問題への取り組み ・課題の提出 ・確認テスト ・後期中間試験
	プレゼンテーション3	2	[DUALSCOPE] 発表の仕方を工夫する	資料の活用 / 意味のまとまりなど	○	○			a: 聞き手の注意を喚起する表現を効果的に使うことができる。 b Exampleとして提示された英文を読んで、内容を理解できる。	・活動への取り組み ・課題の提出
	分詞	5	[DUALSCOPE] L 7 分詞を使って表現する [FACTBOOK]分詞(1)、(2)、Plus分詞	日本文化について説明する 現在分詞と過去分詞の使い分け SVO+doing/ SVO+done 分詞構文の基本用法	○ ○	○ ○		○	a：学んだ文法事項を理解しながら、積極的に演習に取り組もうとしている。 b：与えられた話題について、即興で話すことができる。 b：分詞・分詞構文を用いて的確な表現ができる。 d：分詞構文が書き言葉として使われることを知っている。 d: 分詞についてさまざまな慣用表現を知っている。	・活動への取り組み ・問題への取り組み ・課題の提出 ・確認テスト ・後期中間試験
	比較	4	[DUALSCOPE] L 8 比較を使って表現する [FACTBOOK]比較(1)、(2)、Plus比較	イベント/さまざまな食べ物の表現 原級、比較級、最上級を使った基本用法 最上級を別の表現で言い換える	○ ○			○	a：学んだ文法事項を理解しながら、積極的に話す活動に取り組んでいる。 b：与えられた話題について、即興で話すことができる。 b：比較の表現を用いて、自分の考えを伝えることができる。 b: 比較構文に注意して読んだりかい至りできる。 d：比較を用いたさまざまな表現を知っている。	・活動への取り組み ・問題への取り組み ・課題の提出 ・確認テスト ・後期中間試験
	プレゼンテーション4	2	[DUALSCOPE] 内容を見直す	内容を見直して推敲する/イントネーションなど	○	○			a: 自分で作成した英文について改善点を探し改善することができる。 b: Exampleとして提示された英文を読んで内容を理解できる。	・活動への取り組み ・課題の提出
	関係詞	6	[DUALSCOPLE] L 9 関係詞を使って表現する [FACTBOOK] 関係詞(1)、(2)、(3)、Plus関係詞	世界遺産について説明する a person who … / a thing which [that] … in which … / what … / , which … a day when …, etc. / , when …	○ ○	○ ○		○	a：学んだ文法事項を理解しながら、積極的に演習に取り組もうとしている。 a：自分が書いたものに基づいて、話す活動に積極的に取り組もうとしている。 b：関係詞を用いてさまざまな英文を作ることができる。 b：関係詞を用いたさまざまな文を読んだり聞いたりして理解できる。 d：関係代名詞which, who, thatの使い方を知っている。	・活動への取り組み ・問題への取り組み ・課題の提出 ・確認テスト ・学年末試験
	仮定法	5	[DUALSCOPE] L 10 仮定法を使って表現する [FACTBOOK]仮定法(1)、(2)	環境問題/願望・仮定 仮定法の基本用法If I had 〜/ I wish I had等 as if he were … / Without …等	○ ○	○ ○		○	a：学んだ文法事項を理解しながら、積極的に演習に取り組もうとしている。 a：自分が書いたものに基づいて、話す活動に積極的に取り組もうとしている。 b：仮定法を用いてさまざまな英文を作ることができる。 b：仮定法を用いたさまざまな文を読んだり聞いたりして理解できる。 d：仮定法の基本用法、さまざまな慣用表現などを知っている。	・活動への取り組み ・問題への取り組み ・課題の提出 ・確認テスト ・学年末試験
	プレゼンテーション5	2	[DUALSCOPE] 発表内容を理解して意見を述べる	ノート・テイキング・ポライトネス 評価の仕方	○	○		○	a: プレゼンテーションをする側・見る側それぞれの立場で積極的にプレゼンテーションに撮り雲等している。 b: プレゼンテーションを着てその内容を正確に理解できる。 d: ノートテイキングの基本的な方法を理解している。 d: 話し手の声の大きさや抑揚などから、段落ごとの要点が把握できることを理解している。	・活動への取り組み ・問題への取り組み ・課題の提出
合計時数(55分授業)		64								